

公園の概要

【石巻市中瀬地区の特性】

- 市街地の中心部に位置しており、「みず」と「まち」が一体となった石巻の歴史・文化を担ってきた場所である。
- 四方を一級河川旧北上川に囲まれた中州形状であり、全国的にも類を見ない貴重な場所である。
- 公園や市の観光施設「石ノ森萬画館」があり、市民の憩いの場、観光客の賑わいの場となっている。

宮城県第二の都市
人口13.7万人
(R4.8末時点)



【東日本大震災の被害】

- 最大浸水深4.3mを記録した大津波により、地区内のほとんどの建築物が流失・全壊し、壊滅的な状態となった。
- 「石巻市震災復興基本計画」において、復興のシンボルとして、歴史を継承・発信していく観光拠点として、地区のほぼ全域の公園整備が決定した。



【公園整備】

- 基本理念
「かわ」と「まち」が一体化する石巻の姿を創造し、次世代に継承することを公園整備の基本として設定した。

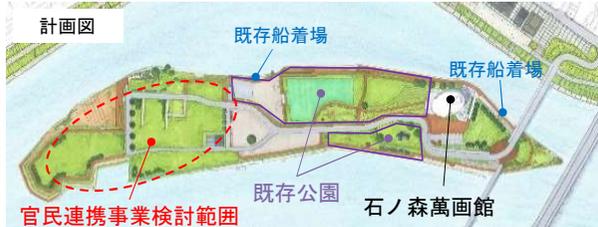
かわみなと石巻の原風景の再生と創造
～美しい、伝え、学び、創る、開かれた水辺の社交空間～

- 新規整備する範囲の一部は、ディキャンプ、バーベキュー、飲食店営業等を可能とする官民連携の活動の場として整備



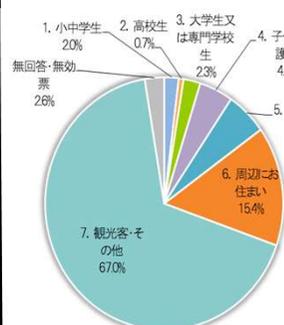
-----整備概要-----

- 公園面積: 4.6ha
(うち官民連携事業検討範囲面積: 1.2ha)
- 完成予定: 令和7年度
- 進捗率: 58% (令和4年3月時点)
- 官民連携事業検討範囲は、計画高△0.2m程度で造成
- 園路内に電線、給水管整備



公園利用者アンケート

- 来園者は観光客が最も多く、次に周辺住民の公園利用者が多い。
- イベント等の開催による賑わいの創出、カフェ等の飲食店が求められている。



選択肢	件数	割合
1. イベント(美術館関係、音楽など)開催	65	21.2%
2. 子どもが安全に楽しめる	47	15.4%
3. 人が集まって、にぎわいがほしい	40	13.1%
4. カフェなどのランチができる商業施設の設置	39	12.7%
5. キャンプ、BBQができる	38	12.4%
6. 駐車場がほしい	30	9.8%
7. 震災伝承関連施設の設置	29	9.5%
8. のんびりできる、憩い、癒しの場	18	5.9%
9. 地域の歴史や個性を感じられる	17	5.6%
10. スポーツ施設・スペースの設置	13	4.2%
11. その他	50	16.3%
無回答	20	6.5%
総計	406	

※R4.8中瀬地区来訪者対象に実施、回答者306名

施設の課題

【周辺施設との連携】

- 復興事業による堤防整備に関連して散策路、誘客施設等が整備され、公園を含めて回遊性の創出が期待されている。

○いしのまき元氣いちば: 約120万人 (R1実績)

○石ノ森萬画館: 約20万人 (R1実績)



【公園利用者サービスの向上】

- 親水空間を活かしたイベントが多数開催されており、飲食店、レジャー拠点等を整備することで更なる賑わいの創出に繋げたい。



- 貴重な水辺のオープンスペースを活かした憩いの場を整備したい。
- 遊具利用目的の親子利用者が多く、休憩場所を整備したい。



官民連携事業方針・効果

”かわみなと石巻”での新たな水辺の過ごし方

■ 水辺のオープンスペースを活かした「くつろぎ空間」

- 水辺に面した眺めの良い飲食店の整備
- 自然に囲まれ、開放感があるディキャンプ広場の整備

■ 公園の利便性向上

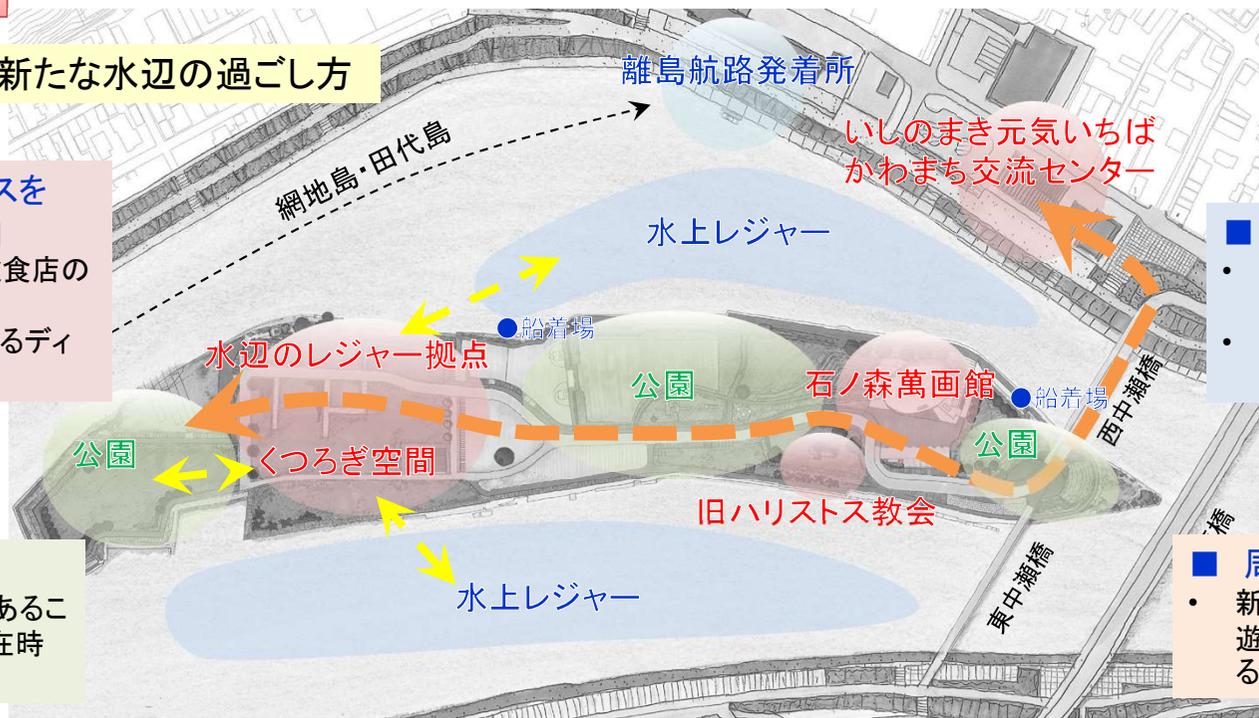
- 飲食店やレジャー施設があることでの利用者の増加、滞在時間の増加

■ 水辺のレジャー拠点

- 水辺や水面を利用するレジャー拠点の整備
- 広域的な施設、名所を巡るレジャー拠点

■ 周辺施設との回遊性向上

- 新たな拠点が加わることで回遊性が向上し、相互連携による新たな事業も期待



具体的な導入事業イメージ

■ 水辺の飲食店

- 水辺の屋外テラス席がある飲食店
- 公園利用者へテイクアウト商品の販売
- イベント時のワゴン販売
- 石ノ森萬画館とのコラボ商品の販売
- 地元産の新鮮食材を活用した商品販売

■ ディキャンプ広場

- 開放的な水辺空間でのBBQ
- 地元産の新鮮食材の提供
- 川風を感じられるビアガーデン
- 特産の蠣を提供する蠣小屋
- 釣った魚の調理等災害時を想定したサバイバル体験



■ 水辺レジャー拠点

- SUP、カヌー、水上自転車といった水上スポーツ
- 開放的な水辺空間を活用したヨガ教室
- 河川堤防のプロムナード(散策路)を活用したノルディックウォーキングの拠点
- 風光明媚な牡鹿半島を巡るサイクリングコースの拠点

